

教育委員会事務局

要求額

(単位：千円、%)

会計名	令和元年度 当初予算額	令和2年度 当初予算要求額	増減額	増減率
一般会計	5,684,538	6,671,663	987,125	17.4

主な増減理由

・ 虎姫学園整備事業の実施	127,439千円
・ 虎姫学園開校準備事業の完了	△ 10,293千円
・ にしあざい認定こども園調理室改修事業の実施	75,000千円
・ その他学校園環境整備事業の実施	248,000千円
・ 学校施設等長寿命化計画の策定	39,501千円
・ 小学校の教科書採択替えに伴う指導書購入	45,432千円
・ 各校への人的配置方針の見直し	△ 11,552千円
・ 英語教育の新たな展開に伴う人的配置の見直し	△ 10,485千円
・ 長浜北部学校給食センター分室統合事業の完了	△ 28,072千円
・ 木之本小・中学校スクールバス(杉野小・中)の新規運行	11,758千円
・ 教育用ネットワーク機器の更新	70,000千円
・ 会計年度職員への移行による人件費の増	336,768千円

予算要求にあたっての基本的な考え方

- 安全・安心で質の高い教育を支える環境の整備
- 将来の学校づくりを考える(学校適正配置、小中一貫教育)
- 新学習指導要領施行に伴う新しい「学力」及び「指導力」獲得のための施策実現
- 学校の抱える多種多様な課題に対応するための専門機関との連携強化
- 「長浜市学校ICT環境整備計画」に基づく学校ICT環境整備の実現
- 義務教育の機会均等を図る経済的援助の継続
- 適切な施設運営と学校給食費管理による安全安心な学校給食の安定提供
- 就学前教育のさらなる充実
- 保育士確保に向けた施策及び施設等の再編による待機児童対策の推進

予算要求の重点事項

- 学校施設等長寿命化計画策定事業
 - ・ 長寿命化によるトータルコストの縮減や財政負担の平準化を図るとともに、施設に求められる機能・性能を確保するため、学校施設等全体の長寿命化計画を策定する。

○虎姫地域小中一貫教育校整備事業

- ・令和2年4月に施設一体型小中一貫教育校（義務教育学校）として開校予定の虎姫学園において第2期工事（特別教室等の改修や中学校校舎の一部解体等）を実施する。

○学校適正配置の検討、小中一貫教育の推進

- ・余呉小中学校、虎姫学園において小中一貫教育校開校後の学校運営、教科指導への支援を行う。
- ・長浜市小中一貫教育基本構想に基づく推進地域において意見交流会を継続する。

○「学力向上」「指導力向上」のための環境整備及び研修の充実

- ・子どもの学びの質を高めるためにICT機器を活用する。
- ・新学習指導要領に対応するための指導力向上研修を実施する。

○子どものより良い発達をサポートするための専門家による相談事業の充実

- ・特別支援教育推進事業及び青少年相談指導事業における「発達サポート事業」を新たに導入する。

○より効果的・集中的な人的配置

- ・「学校支援事業」における人的配置の方針を見直す。
- ・増加する外国人児童生徒に対応するための「初期指導員」を新たに配置する。

○ICT機器活用のための教育環境整備事業

- ・9中学校の全普通教室にプロジェクター等の大型提示装置を導入する。

○市民で支える小学校給食費補助事業

- ・子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、小学校に在籍する児童の保護者（市内住所）に対し学校給食費を全額補助する。

○学校給食費公会計推進事業

- ・令和3年度の学校給食費公会計移行に向けて、管理システム整備や口座振替手続き等を行う。

○就学前教育推進事業

- ・「長浜市就学前教育カリキュラム」及び「長浜市運動あそびプログラム」に基づいた質の高い教育・保育の実践を進める。
- ・個々の児童の特性や発達課題に応じた支援体制の強化と充実、及び適切な就学先選択への支援を行う。

○子ども子育て推進事業

- ・保育士確保に向けて、公立、民間園を問わず市内への就職及び定着を誘導する施策（奨学金返還支援、居住支援、再就職定着応援金）を行う。
- ・長時間保育のニーズに応えるため、幼稚園において預かり保育を行う。
- ・「長浜市の幼稚園・保育所等施設再編についての考え方」に基づき、公立園の再編を進める。
- ・子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、国の幼児教育・保育の無償化施策に加え、市独自の多子世帯への保育料・副食費に係る軽減措置を行う。
- ・市内民間園への運営や施設整備への支援、及び認可外保育施設への運営支援を行う。